

こどもにを応援して下さる皆様へ

こんにちはです。梅雨も終盤を迎えようとしていますが、気圧の変化などで体調を崩されていませんか？
こどもに-の子どもたちは、晴れ間をみつけては、水遊びに夢中になり、ビショビショになりながら走りまわっています

今年7月のフリースクールは6月の時点で定員の10名を上回り、現在は16名ととても賑やかです

一方で、限られたスタッフの数でどこまで受け入れるか、どの居場所を探し求めてうちにたどり着いた子どもに併介することはしたくない... そんな葛藤もあります

今号の会報誌P2.3で、「ごちやませ」名以外として移転の話を掲載していますが、拠点を移転することが急がれるなあと感じています

これからも随時皆さんには相談・報告をさせて頂きながら実現に向けて力を借りたいと思っています

今後ともこどもに-の活動を支えてくださいますようお願いいたします

代表理事 田中雅子





～いつも仲間と一緒にいて、驚くとコロコロ丸くなると可愛。だんご虫は、子ども達の大切なお友達～

生まれながらに誰もがもつ“ワクワク楽しい”と思う権利

プレーパークは、いつでも誰でも来れる場所として開いていて、未就学児親子から、おじいちゃんおばあちゃんまで様々な立場の人がやってきます。もちろん地域の子どもも。

先日、3人の小さな子どもをもつお母さんから「プレーパークに子どもを連れて行っていいですか」と相談がありました。

答えはもちろんOKですが、事情を聴くと末っ子に障がいがあり、他の子ども2人も一緒に公園で遊ばせるのが大変なため、なかなか遊びに連れて行くことができない。プレーパークならスタッフもいるし心強いとのことでした。

以前から、プレーパークには発達障がいや知的障がいの子どもも遊びに来ます。

家や学校では暴れたり奇声を発するため、手が付けられず困っている…そんな母親の悩みと共にやってきた子どもは、プレーパークで思いきり駆け回り、丸太を見つけては水たまりの中に集め、最後には芸術作品のようなオブジェをつくって満足気に帰ったこともありました。

毎週末遊びに来る、近くの障がい者支援施設の利用者さんは、草の上に座り込んで気持ちよさそうに風を感じたり、ひたすら草をぬいたり、楽しそうに歩き回るなどして過ごします。

この前は、ウッドデッキで休憩している彼らの間に、常連の子どもが並んで座りおしゃべりしていました。端からみたら、風を感じることにそんなに楽しい？草を触っていても面白くないじゃない。と見えるかもしれません。

障がいのある人のそばにいたら危ないのでは、と不安に思う人もいるでしょう。

でも、楽しいか楽しくないかを決めるのはその子自身だし、一緒におしゃべりしたいから並んで座る子がいたら、それが自然な姿なのだと私は思います。

時々、小さな声で「あいつおかしくない？」と聞いてくる子がいますが、その子の特性を説明し、それが個性であること、みんなと同じ『権利』があることなど、当たり前のことを話してあげます。

障がいをもって生まれてきたことで、その子の行動範囲やチャレンジの機会が狭くなってしまうのは淋しいことです。

誰もが『生きる権利』があるように、どの子にもワクワクして楽しい♪と思う権利がありますよね。

私は、障がい児のケアをする専門家ではありません。ただの地域住民の一人です。

どんな子ども、当たり前で遊べ、ワクワク楽しいと思える『場』をつくることしかできませんが、それは、これからも続けていこうと思います。



この写真は、本文とは関係ありません。石鯨で、プレーパークの施設内を泡だらけにした楽しい顔のご紹介でした～(笑)

代表理事 田中雅子(通称:けろ)

☆認定 NPO 法人こども∞感ばに- (愛称:こどばに-)とは…

2011年の東日本大震災後、宮城県石巻市の地域の大人とともに子どものあそび場づくりをきっかけに活動が始まりました。私たちは“子どもの笑顔が地域のなかで育まれるまちに”を理念に、地域の人々と一緒にプレーパークやフリースクール、放課後児童クラブを行っている団体です。

♪ ことばにーのこれから

和食、洋食、中華、デザートなんでもあるファミリーレストランは、誰がいても満足できる安心できる店のように、ここも、どんな人も安心して過ごせる場所♪ 名付けて…

ごちゃませプロジェクト

『そこに行けば誰かがいる』
 子どもの日常生活のなかに“あたり前”にある居場所を渡波中学校区に新設します。
 ここは、どんな子どもも来れる場所。どんな大人も集える場所。
 すべての子どもが“ありのまま”で過ごし、それを地域のみんがみ守る…
 子ども一人ひとりが、自分の可能性を信じ、『生きる力』を育むために、
 地域のみんがとつくるファミリーレストラン型の居場所です。

イラストの解説①

- ①プレイワーカー常駐
- ②室内の居場所
- ③地域の大人と子どもが遊ぶ
- ④地域住民の居場所
- ⑤食事をみんなでつくってみんなで食べる

イラストの解説②

- ⑥子どもがおじいちゃんをサポート
- ⑦高齢者の趣味の畑
- ⑧障がいのある子どもなどと遊ぶ
- ⑨フリースクール



10年来的付き合いのおばあちゃんと子ども



異世代がつながり育ちあう



近所のおばあちゃんと畑作業



毎週末、かまどで子ども食堂

“ごちゃませプロジェクト” 4つの役割

プレーパーク

子どもの主体性を尊重し、子ども自らが遊びを考え決断し、行動に移すプロセスを大切にします。あそびを保障すると同時に、何もなくてもいい、安心して過ごすことができる居場所でもあります。開所時はプレイワーカーが常駐し、遊びの環境をつくと共に、ソーシャルワーク、地域コーディネーターの役割を果たします。

フリースクール

学校に通わない選択をした子どもが家庭的な雰囲気の中で安心して過ごすことができる居場所が隣接しています。一歩出れば、プレーパークを訪れる地域の人とのつながり、「やってみたい」からうまれる多様な学びに進化します。子ども一人ひとりが社会的自立をするためのサポートをおこなう場所です

子ども相談・課題へのサポート

子どもが抱える様々な悩みや課題に寄り添い、サポートします。不登校や児童虐待、子どもの貧困など、子どもを取りまく課題は多岐に渡り、それらは子どもだけで解決することは難しく、大人の力が必要です。これまで、子どもが直面するさまざまな課題に取り組んだ経験があるスタッフが常駐し対応します

地域の大人の居場所

大人も趣味ややってみたいことが実現できる場所が大切です。お茶を飲みながらおしゃべりしたり、畑をしたり、得意なことを子どもに伝えるのもいいですね♡子どもも大人も同じ空間で過ごすことで交流が生まれ、顔の見える関係性が生まれます。地域で子どもを見守り地域で育てる、そんな町が素敵だと思います



プレパーク わたのほ ひがこー

プレパーク

∞: 初めてのおやつ作り

【プレパークわたのほ】
毎週金曜日 15:00~17:00
毎週土・日曜日 10:00~16:00
所在地:石巻市渡波字黄金浜 157

詳しい場所や
プレパーク
活動の様子は
こちらから
↓↓↓



【プレパークひがこー】
毎週水曜日 15:00~17:00
所在地:石巻市鹿妻南2-7
(鹿妻東公園)

ある日の午前中に中学生のKくんが久しぶりに遊びに来て、小腹が空いたからとべっこう飴を作りはじめました。

Kくんの姿を近くで見ていたRくんは、プレパークでおやつ作りができることに興味を持って話しかけ、一緒にべっこう飴をつくることになりました。溶かしたべっこう飴に竹串を刺してアルミホイルで包み、冷蔵庫で固まるまでの時間に2人は鬼ごっこをしていました。

固まったべっこう飴を確認したRくんは自分でおやつを作れたことに興奮し、大喜び。

Kくんは自分が小学生の頃によくやっていたおやつ作りを後輩に伝え満足気な表情で帰っていきました。

おやつ作りという遊びを通じて異年齢の2人が仲良くなる様子を見て、子どもは遊びの中でお互いに育ちあっているのだなと感じました。



(かっちゃん)

∞: プレパークに侍がやってきた!

毎年ゴールデンウィークに兵庫県から石巻に来て演芸会を行っている雲井和之助さんが今年もプレパークに来て下さり、伊達政宗物語という芝居と南京玉すだれを披露してくれました。



子どもたちは声色を変えながら政宗と父親の役を演じ分ける雲井さんを真剣な表情で観ており、南京玉すだれでは手拍子をしながら盛り上がっていました。

終演後には「自分が住んでいる町を好きでいてほしいというメッセージを込めて演じた」とおっしゃっていて、私の目には雲井さんが本物の侍のように見えました。

「次はいつ来るのかな」という子と共に来年もプレパークに侍が来てくれることを楽しみに待ちたいと思います。

(かっちゃん)

ひがこー

∞: 焚火で得られる成功体験

ひがこーでは毎週子どもたちが焚火をしています。

自分たちで薪を割り、消火用のバケツに水を汲み、焚火台に紙や薪を乗せていきます。

マッチを使ったことがない子は経験者に使い方を教わります。

火が付かない時には「木の組み方が悪いのかな、薪をもっと小さくしてみよう」と相談しながら挑戦し、思い通りに火が大きくなったら喜びあっています。

この日は火をおこした後にチョコレート菓子をフライパンで焼き、「ちょっと苦いね」と友達同士で笑いあっている姿が見られました。自分の手で火をおこし、その火を使っておやつや料理を作る経験は子どもの自信に繋がり、自立心が育まれると思っています。

今後もひがこーで小さな成功体験を積み重ねていってほしいです。

(かっちゃん)



ほうかご!



児童クラブ

●放課後児童クラブとは

保護者が就労等により家庭に不在の子ども(小1~小6)を放課後や長期休みに預かり、家庭に代わる遊びや生活の場を提供する児童福祉事業です。
学校や地域、保護者と連携し家庭の子育てを支援します。

行ったり来たりは良いなあ~

新一年生が入所し、3カ月が過ぎました。3月まで1年生だった子どもは4月からは年下の面倒を見たり、遊んだりとても賑やかな毎日です。

今年の1年生は個性や自己主張が強く、二年生は圧倒され気味のようです。(笑)
1Fより2Fの行き来をできるようにし



たことで、良い点が沢山ありました。

宿題、遊び、おやつ、お弁当など自由に自分たちで落ち着きの場(居場所)を見つけ毎日有意義で楽しい時間を友達と過ごせる、過ごしたい場所で過ごせるという選択肢があるということは、次にだれだれとどこで何をしたいか、子どもたちの主体性を伸ばす糧にもなると思います。

子どもが帰る時間まで楽しく過ごせるよう、「明日来るのが楽しみ」と言ってもらえるようにしたいと思っています。(ふった)

外遊びの時間

子どもたちは、「やってみよう」「遊んでみたい」を目いっぱい身体を使って表現してくれます。
外遊びでは、校庭に落ちている色々な花びらや葉っぱ、木の枝、蟻やダンゴムシなどの虫を見つけ、目をキラキラ輝かせたり悲鳴にも聞こえる高い声を上げたりしながら驚きの発見を楽しんでいます。拾って集めたものは、工作に使ったり、お母さんへのプレゼント用にアレンジするなど自由自在に形を変えて創意工夫している光景に出会います。

作品が完成した時の最高の笑顔がある一方なかなか作品ができず落ち込んでいる子どももいます。一緒に笑ったり悩んだり、子どもたちと同じ目線で今おもしろいと思うことを精いっぱい経験できる環境を一緒につくっていきたいなあと感じます。

(よねよね)



道具は使い方次第

雨の日は外遊びができず退屈を感じる子もいます。そこで、普段とは少し違うことを遊びの仕掛けをしたいなあと思い、色水を使って色遊びを行いました。興味を持って寄ってきた子も最初は「どんな風にやるの?」と中々手が進みませんでしたが、途中から子どもたちの独自性がどんどん出てきます。スポンジをポンポンと紙に叩いたりべーっと伸ばしたり、いろんな色を混ぜて別の色を作り出す子もいれば単色で濃淡をつけて『味』を出す子も。

同じ色や道具を使ってもこんなに多様な色味や絵が生まれるんだな、素敵だなと感じました。この時作った紙は一部紫陽花の形に切って児童クラブで飾っています。寄ることがあった際は子どもたちの感性を見ていただけると嬉しいです。(ゆい)



フリースクール ほほはっく

毎週火・木・金曜日
10:00~16:00
当会事務所1階で開催
体験無料
減免制度あり

フリースクールの活動の様子は
こちらから



利きカップ焼きそば対決!

ある日、ぼはっくの子どもとけろちゃんが何やら楽しみに作戦会議をしていました。話しを聞くと、「カップ焼きそばを6種類用意して、どれがどの焼きそばか当てる」という利き焼きそば対決の企画を立てている様子!



参加者は、子ども2名、けろちゃん、事務局みーさんの合計4名。全神経を味覚に集め、集中して味わっていました! 結果は、全問正解でみーさんがぶっちぎり優勝(笑) 「こんなことやってみたい」「こんなことやったら面白そう」を実現できるのがぼはっくのいいところ。それが純粋に表れたそんな出来事でした^^ (ロッキー)

子どもも私も初体験♪

待ちに待った遊園地にお出かけの日、みんなでくじら号に乗り込みしゅっぱーつ!!

と、その前に給油給油♪

運転手のロッキーが給油している間、私は子どもと近くのコンビニで買い物をしていると…「やっちゃいました～」とロッキーが頭を抱えて飛び込んできました。

軽油と間違えて、ガソリンを入れてしまったとのこと。

車屋さんに「修理に半日はかかる」と言われ、子どもたちのテンションはダダ下がりでした。

でも、「ガソリンいれ間違いは、55年生きてきた私も初体験♥みんなラッキーだよ(笑)」と言うと「そうか～貴重な体験なんだね♪」とテンション復活。

そして、子どもの一人が「失敗は誰にでもあるよ」という励ましの声に、ロッキーは救われたそうです。

ロッキーにやられました。



車屋さんに運ばれるくじら号を見送る子どもたち

修理の手続きを待つ間、水路にザリガニを見つけ、即興で釣り道具をつくってザリガニ釣りに夢中になる子ども。すごいでしょ～(笑)

どんな時でもポジティブに、そしてそれを楽しみに変える天才たちのお話でした♪(けろ)

はじめての動画編集

彼は、学校に行けなくなり、数年前にぼはっくの門をたたきました。

学校に復学した時期もあったけど、今は家で過ごすことが多く、私がたまにお家についておはなしして過ごしています。

そんな彼が、動画編集に関心をもち独学で練習を始めたので、こどぱにーの動画編集を頼んでみました。すると、クライアント(私です)のニーズ確認と

チェックなど、数回のやり取りの末、はじめてとは思えない作品が完成しました。動画編集なら家でできる仕事…そうしたら自立できる。そう

考えているみたい。自分の将来を考えていない子はいないのです。私は彼の可能性を信じ続ける一人でいようと思います。(けろ)

彼の編集した動画に興味のある方は観てみてちょ



僕がこの石巻を変える！！

みなさんは『石巻市子ども未来プラン』を知っていますか？

これは、石巻市のすべての子どもが健やかに成長できる社会を実現するために、石巻市が5年に1度たてる計画です。(子ども・若者委員募集要項より抜粋)

そして石巻市は、令和7年からの新計画をたてるために子ども・若者委員を募集しており、ぼはっくの子どもが2名申し込んで選ばれました！
タイトルの「僕がこの石巻を変える」は、申込書に子どもが記入した意気込みです(笑)ちなみに私も若者委員に選ばれました！

子ども自身が「自分たちの住むまちづくり」の当事者になれるように、全2回の計画会議に参加してきます！ (ロッキー)



うほほーい ピカリちゃん

どの子にとっても楽しい学びの場を！

其の10

学校に行かない・行けない子どもについて、けろがメッセージをお届けするコーナー
そしてここでは、彼らを“ピカリちゃん”と呼びますね。
理由はどんな子どもピカリと輝いているから



子どもが学校に行けない・行かなくなる理由はさまざまです。

10年以上、ピカリちゃんたちと出会ってきて感じるの
は、100人いたら、その理由は100通りということ。し
かし近年、子どもの“発達”に要因がありピカリちゃん
になるケースが増えている傾向があります。

発達障がいでもよく耳にするのは、ADHD(注意欠陥多
動性障害)、ASD(自閉スペクトラム症)、LD(学習障がい)
などですが、診断がおりていなくても、教室で他
の子と同じように過ごせない、学習についていけない、
コミュニケーションが上手くできない、いわゆる『グレー
ゾーン』の子どもを含めると、1クラスに一人から三人
位いるのではないのでしょうか。

学校の先生方も、誰ひとり取り残さないために、その
子にとって学校が楽しい場所になるようさまざまな
努力をされています。

でも、目を配らないといけないのはその子だけじゃ
なく、30人もの子どもを1人で担当しているわけで、

ジレンマを感じている先生も多いと思います。

どうすればこの『負のスパイラル』が解消される
のか、答えは簡単ではありませんが、私は『学び
の場の選択肢』を増やすことだと考えます。

もちろん、先生方と連携しながら。

一人一人に合った学びの場が増えることで『不登
校』は確実に減少します。

そこに気づいている方はたくさんいると思うの
で、その人たちとタグを組みながら、誰もが学
ぶことの楽しさを経験し育つ環境をつくり続けて
いきますね。(けろ)





能登半島チャリティマーケット

1月、こどばにーの子どもたちが能登半島への街頭募金に参加させていただきましたが、今回はチャリティマーケットに子ども商人の店長として参加し、おもいおみの作品を販売させていただきました。

そして出店だけでなく、会場の設営準備から片付けまで全工程に参加し、最後は寄付金額の計算まで…

長丁場に若干疲れをみせながらも最後までやり切ったのは、「頼もしい」の一言に尽きます。

子ども商人の一人に、電車の絵数枚を展示販売した子がいます。

その子が絵の値段をつけた時、「これは1000円」と、一枚だけ桁が一つ多い作品がありました。

その子にとってその絵は特別な一枚だったようです。

でも値段をつけたものの、初めての販売。売れるかどうか内心ドキドキしていましたが、開店して30分が経つ頃、なんと売れました〜♪

誰よりもその子自身が目を丸くして驚いていましたが、とても嬉しそうでしたね♥。



自分の作品を喜んで買ってくれる人がいて、自分も嬉しくて、その売り上げが能登半島の子どものために使われる…みんなが“嬉しい”循環です。

たくさんの経験と想いがつまった素敵なお一日となりました。

これからも能登半島の子どもたちのためにできることを、石巻の子どもたちと考えていきたいと思えます。イオン石巻東店さん、ご協力に感謝いたします。

(けろ)

強みを生かした連携

石巻ロータリークラブ様が毎年開いている合同例会にて、地域に貢献する活動を行っている団体として『奉仕賞』を受賞しました。

そして、子どもに関する課題や現状、こどばにーがこれから行う“新規事業”（本誌 2〜3P）について、けろちゃんからお伝えしました。

けろちゃんの話聞き、こどばにーの新規事業に必要性を感じた社長さんは多く、様々な企業と繋がることができました。

こどばにーと企業、それぞれの強みを生かしながら連携し、これからの活動を展開していきたいです。（ロッキー）



お花畑プロジェクト

先日、倫理法人会で講演させていただいたご縁が繋がり、プレーパークに約 170 株の可愛いお花がやってきました。

子どももお母ちゃんも、通りすがりのご近所さんも、もちろんお花を提供してくださった箕さんも…

みんなで植え終わると…どこもかしこもお花お花。まだまだこれから花が開くので、よかったですら“お花見”にいらしてくださいね。

お花を提供してくださったダイアナ箕さん、みんなの心がホッとする素敵なプレゼントをありがとうございました。(けろ)



お花を提供してくださった箕さん



図書カードの贈り物

毎年、東北電力さんからいただく図書カードは、子どもにワクワク感を与えています。

日頃、本を読まない子も、なぜか図書カードを見ると本屋に行きたくなり、本を読みたくなる…

不思議ですよ(笑)

子どものドリルや参考書、図鑑など、今年もいろいろ購入させていただきますね。

ありがとうございます(けろ)



ロッキー、教壇に立つ

石巻専修大学で授業をしてきました！これまでも授業の時間を少しいただき、こどばにーの活動紹介は何度かさせてもらいました。しかし、今回は初めての 90 分フル授業！ 時間配分が難しい👊

今回お話をした内容は、『地域福祉論』と『社会的養護 II』の 2 教科。どちらも人間学部(子どもに関わる分野)の授業。つまり私の後輩に話してきました♪

今回、一番伝えたかったこと。それは「就職して感じた、子どもと関わる仕事において必要なこと」です。

子どもに関わる仕事には、学校の教諭、保育士など様々あります。私たちプレイワーカーもその一つです。私は子どもと関わる時に「子どもにとって安心して過ごせる環境の一部であり続ける」ということを大切にしています。

後輩たちが就職してからも、ただ毎日を過ごすだけでなく、自分の中で“大切に作る軸”をもって子どもと関わってほしいと思い、熱く熱く伝えてきました。

後輩たちが、子ども一人ひとりに目を向けて「今その子が何を必要としているか」を考えられる素敵な大人になってほしいなー！

(ロッキー)



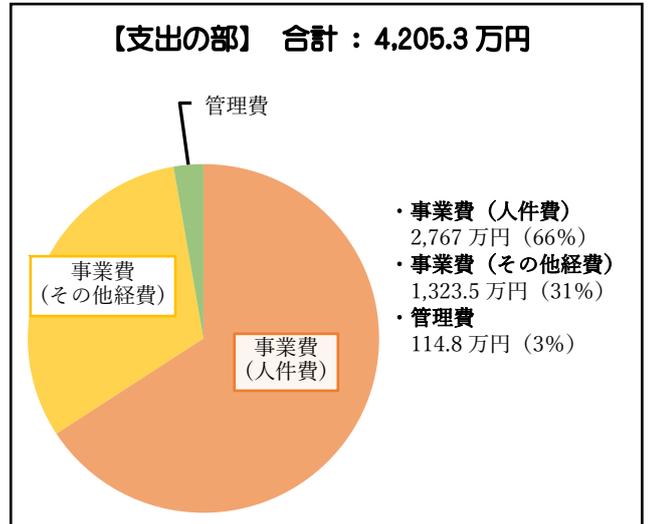
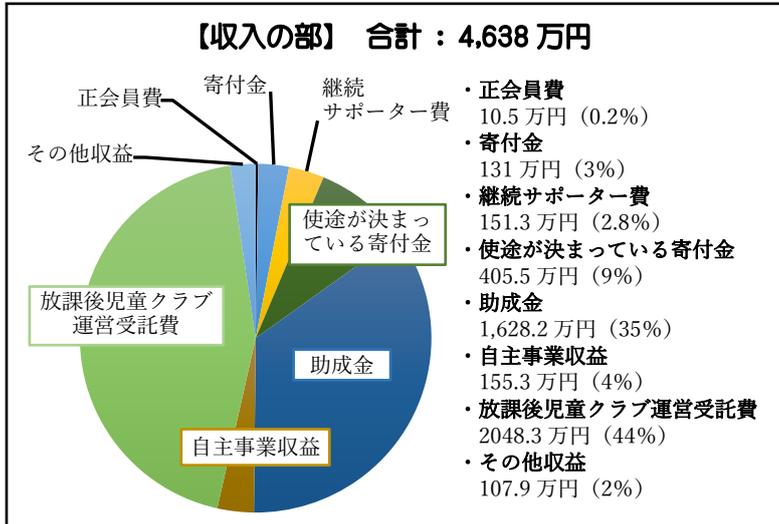
事務局からのお知らせ



2023 年度会計報告



2023 年度も 92 名の継続サポーター、延 270 名を超える方からのご寄付やクラウドファンディング(空飛ぶくじら号・みやぎチャレンジプロジェクト)など、たくさんの方にご支援・ご協力をいただきました。ありがとうございます。



昨年度は、新たに石巻市より放課後児童クラブを受託したこともあり、次年度への繰越金が約 430 万円となりました。しかし、2025 年度末にはほとんどの助成金が終了を迎えるので、これまで以上に資金の調達が必須となります。

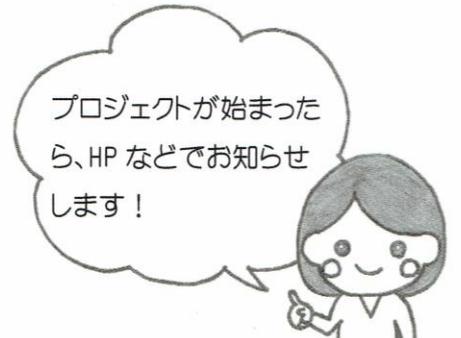
こどばにーの活動を継続していくためには、みなさまのお力添えが必要です。ページ下部の◎継続サポーターのお願いの QR コードより、ぜひご登録をお願いいたします。(みー)



クラウドファンディングに挑戦します！



8 月 1 日から 50 日間「フリースクールぼはっくの開催日を増やしたい！」というプロジェクト名でクラウドファンディングに挑戦します！
 現在ぼはっくは週 3 回の開催ですが、子どもたちからは「開催日が増えたらもっとみんなといれる。もっといろんなことができる」という声が上がっており、子どもたちのために開催日を増やしたいと考えています。
 子どもたちが安心して過ごせる居場所を一日でも多く開催するために、ご支援・応援よろしくをお願いいたします。(ロッキー)



<p>こどばにー通信「だん子むし」発行元</p>  <p>認定 NPO 法人 こどもへの感ばにー</p> <p>宮城県石巻市鹿妻南 2-1-7 Mail: info@codopany.org Tel: 070-2436-8517 (事務局) HP: https://codopany.org/</p>	<p>◎継続サポーターのお願い</p> <p>こどばにーの活動をみなさまのお力で支えてください。</p> <p>サポート金額は月額 300 円から♥</p> <p>子どもが第三の大人とつながり、安心して過ごせるセイフティネットの場づくりにご協力ください。</p> <p>詳しくはこちら → </p>	<p>◎活動報告の配信</p> <p>☆こどばにーのこといろいろ (けろの独り言も配信)</p> <p>●Facebook ●Instagram</p>   <p>「いいね」してね♥ </p>
---	---	---